

旧サービスとの違い

新サーバーの特徴



WordPressを安全に利用

✔️ 選べるPHPバージョン

これまでは固定されたPHPバージョンをご利用いただきましたが、NXシリーズでは最新のPHPを選択してご利用いただけます。最新版のWordPressも、もちろんご利用いただけます。

※PHP5は移行の方のみ提供



開発環境が便利になります！

✔️ SSHログイン開放

Webやアプリケーションのログをリアルタイムに確認しながら作業をしたり、開発環境の構築をしたり、色々できるようになりました。

※ある程度Linuxの操作ができる方を前提とした機能となります



特別な設定をしなくても

✔️ 常時SSLになります！

NXシリーズでは、ウェブ領域の設定を行うと自動的に無償SSLが設定されます。簡単に常時SSL化ができて、安心な状態でご利用いただけます。

※他社DNSサーバの方は自己署名証明書となります

新旧機能比較

Web関連

標準搭載とされている機能の一部は、管理画面で設定する事で利用可能となります。

項目	旧サーバ	新サーバ
転送量 ^[*1]	無制限	
共有SSL	標準搭載	無償SSL対応により搭載なし
独自SSL ^[*2]	オプション ※SSLはIPベース	オプション ※SSLはSNIのみ IPベースをご利用いただけません
無償SSL ^[*3] Let's Encrypt	標準搭載 ※Liteプラスのみ搭載なし	標準搭載
ログ転送	標準搭載	搭載なし ※ユーザ領域に ログを出力
無料 ログ解析	標準搭載	搭載なし ※Google Analytics等 をご利用ください
アクセス カウンタ	標準搭載	搭載なし

メール フォーム	標準搭載	搭載なし
アクセス 自動振り分け	標準搭載	搭載なし
エラーページ	標準搭載	
ウェブ設定 ウィザード	標準搭載	
アクセス制限	標準搭載	
FTP アクセス制限	標準搭載	
FTPS (Explicitモード)	標準搭載	
最新 ログ閲覧	標準搭載	標準搭載 ※webのログに加え メールログ も閲覧可能
ホームページ 引っ越し	標準搭載	搭載なし [※4]
Perlモジュール 閲覧/検索	標準搭載	搭載なし [※4]
CGI Perl 文法チェック	標準搭載	搭載なし [※4]

※1 帯域を独占するようなコンテンツ配信については、公平性を保つために帯域を制御する可能性があります。

※2 別途認証局のライセンス取得が必要です。詳しくはSSL認証をご覧ください。

※3 サブドメインも含まれます。取得から1週間以内の取得について20枚の上限があります。

※4 SSHログインが開放となりますので、サーバにログインしていただきコマンドにてご確認等が可能となります。

メール関連

項目	旧サーバ	新サーバ
メール アドレス数		無制限
ユーザ個別 管理画面		標準搭載
ウェブ メール		標準搭載
ウイルス チェック		標準搭載
迷惑 メール フィルター		標準搭載
転送設定		標準搭載
自動返信 設定		標準搭載
受信拒否 設定		標準搭載
メール通知 設定		標準搭載
POP over SSL		標準搭載
SMTP over SSL		標準搭載
サブミッション ポート SMTP認証		標準搭載
IMAP over SSL		標準搭載
メーリング リスト	標準搭載	LiteNX：搭載なし エントリーNX：搭載なし スタンダードNX：40個 ビジネスNX：50個

※1：IMAPや、POPでサーバにメールを残す状態でお使いいただく場合、サーバにメールが残ったままとり新しいメールが受け取れなくなることがあります。IMAPをお使いいただく場合は不要なメールは定期的に削除いただくか、POPでサーバにメールを残さない設定をお勧めいたします。

サーバソフトウェア・サーバ環境

項目	旧サーバ	新サーバ
PHP	5.6系 ※Liteプラスのみ5.2系 ※すべてCGIモード	以下から選択可能 5.6系 ※ 7.2系 7.3系 7.4系 (CGIモード) ※5.6はMRS旧サービスからの移行のみご利用可能
Perl	5.10系 ※Liteプラスのみ5.8系	5.16系
Python	2.6系 ※Liteプラスのみ2.4系	2.7系
ruby	1.8系	2系
SSI	○	搭載なし
MySQL	Liteプラス：5.1系/1個 エントリーV2：5.6系/3個 スタンダードV2：5.6系/30個 ビジネスV2：5.6系/30個	搭載なし ※MariaDBでご利用可能（互換性あり）
MariaDB (5.6系)	搭載なし	LiteNX：3個 エントリーNX：4個 スタンダードNX：40個 ビジネスNX：50個 ※MySQLのデータをご利用可能（互換性あり）
phpMyAdmin		○
PostgreSQL	Liteプラス：8.3系/1個 エントリーV2：9.4系/3個 スタンダードV2：9.4系/30個 ビジネスV2：9.4系/30個	LiteNX：9.2系/3個 エントリーNX：9.2系/4個 スタンダードNX：9.2系/40個 ビジネスNX：9.2系/50個
phpPgAdmin		○
SQLite		○
sendmailパス		○
ImageMagick		○
Apache	2.2系 ※Liteプラスのみ2系	2.4系
SSHログイン	搭載なし	○

※ データベースの文字コードはUTF-8となります。

その他変更点

DNSが変更になりました

すべてのサービスで統一になりました

ネームサーバ情報（DNS）は以下のように変わります

(変更前) サービス毎に異なるネームサーバ

↓

(変更後) すべてのサービスで統一

- ・プライマリDNS : ns1.mcnx.jp(210.172.222.213)
- ・セカンダリDNS : ns2.mcnx.jp(210.172.218.182)

Webサーバの変更点

1) ドキュメントルートが変更になりました

ドキュメントルートは以下のように変わります

(変更前) /home/httpd/webmaster-XXX/public_html

↓

(変更後) /var/www/ユーザごとに異なります/[FQDN]/public_html

※プログラムの中に絶対パスで記載している場合、書き換えていただく必要があります。

2) 有効なモジュールが変更になりました

Apacheのモジュールが、OS、Apacheのバージョンが変わったことも関連し増えました。

[.htaccessで利用可能なモジュール一覧](#)

3) ログ転送設定が不要になりました

以下領域にログが出力されます。お客様がご自身で確認できるようになった為ログ転送設定が不要になりました。

- ・ /var/www/ユーザごとに異なります/[FQDN]/logs/access_log
- ・ /var/www/ユーザごとに異なります/[FQDN]/logs/error_log

サーバソフトウェア・サーバ環境の変更点

各種パスが変更になりました

旧サービスとNXシリーズではパスが変更になっています

※旧サービスの情報は、登録確認書もしくは管理画面内をご確認ください。

NXシリーズ各種パス

Perlパス : /usr/bin/perl

Rubyパス : /usr/bin/ruby

Pythonパス : /usr/bin/python

ImageMagic パス : /usr/bin/convert

sendmail パス(メールプログラムpostfix使用) : /usr/sbin/sendmail

SSLの変更点

常時SSLになりました

ウェブ領域の設定を行うと自動的に無償SSLが設定されます

MRS-NXシリーズでは、常時SSLを基本としているため、必ずSSLサーバ証明書が設定されます。

無償のSSL証明書として、標準でLet'sEncryptと自己署名証明書に対応しています。(有料オプションでその他選択可能)

Web設定時に、自動的にLet'sEncrypt証明書の取得を試みます。失敗した場合は自己署名証明書が設定される為、特殊な設定なくSSL化した状態でご利用いただけます。

Let'sEncryptはドメイン認証（DV：Domain Validation）です。DNS認証 [*1] によりワイルドカード証明書を取得します。URL認証 [*2] には対応していないため、**MRS-NXのDNSサーバを使用していないドメインの証明書は取得できません。**

※1 DNSのTXTレコードに認証用のコードを埋め込んで、それが参照できるか確認する方法のこと。

※2 WEBの指定された領域に認証用のコードを設置して、それを参照できるか確認する方法。

PHPの変更点

1) PHPが選べるようになりました

ホスト毎にPHPのバージョンを選択できるようになりました。

例) XXXXXX.comではPHP5.6を使用する。同じサーバ内にあるサブドメインwww.XXXXXX.comではPHP7.2を使用する等。

2) php.iniの設定を反映させる際の、.htaccessファイルの記述が変わりました

詳細はPHPのカスタマイズについてをご確認ください。

データベースの変更点

MariaDBをご利用いただけるようになりました

これまでMySQLでしたが、MariaDBをご利用いただけるようになりました。

これにより、以下内容が向上しています。

- ・セキュリティ面・頑健性・パフォーマンスが向上
- ・拡張性・処理性能・品質が向上

また、MariaDBはMySQLと高い互換性がある為、これまでMySQLをご利用いただいていた方もスムーズに移行していただけます。

※インストール方法やディレクトリ構造がほぼ同じです。

接続ユーザが複数作成できるようになりました

これまでデータベースに接続できるユーザは1人でしたが、複数ユーザを作成できるようになりました。

※ユーザ名は、データベース作成時に自動的に発行されるため変更はできません。

cron設定の有効・無効設定ができるようになりました

管理画面内から、cronの設定の有効・無効設定ができるようになりました。